

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1985
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.58, No.2 (1985. 2) ,p.200- 200
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	林烈先生退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19850228-0200

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

本誌五八巻二号林烈先生退職記念号——の編集を終え、その編集後記を書く段にまで漸くたどりつくことができて、この記念号発刊に直接間接に御協力いただいた方々に心より深謝したい。記念号を組むことを編集委員会で決定したのちに、執筆依頼を少々あわただしくお願いする形になってしまった感もあったが、法学部長の「序文」をはじめ、最終的に計七編の論文の御寄稿をいただき林先生の記念号を飾ることができた。御寄稿下さった諸先生に重ねて感謝したい。また、寄稿を御快諾くださったが、途中で御病氣やその他の都合でこの度の記念号への御寄稿を断念せざるを得なかった他の先生方にもその御協力の意に感謝したい。

林烈先生は本年三月末日を以って、慶應義塾大学を定年退職なされる。万感の憶いが去来し、この定年を迎えられることかとも思う。ともあれ、永年にわたって法学部の教育、研究の上で御活躍し御指導下さった先生の定年退職に際して、われわれ後進の林先生へのささやかな謝意として本誌第二号——記念号を献呈する次第である。

慶應義塾大学の通信教育課程は、昭和二三年の開設以来より

現在まで四〇年に近い歴史をもっている。林烈先生はその開設当初より通信教育課程に関係しており、今日まで法学部通信教育課程を陰に陽に支えてこられたお一人である。

塾の通信教育課程を卒業するのは難しいというのは定評となっているところだが、そうしたもとも多年々数多くの卒業生、塾員を世に送り出してきたのも事実である。林先生が、法学部通信教育課程の学務委員として永年にわたって通信教育課程で温かく指導なされ、通信生を励まし続けてこられた功績は極めて大なるものがある。テキスト配本、課題報告、科目試験、夏期・夜間スクーリング、卒論指導、卒論面接等々と、通学課程とは少々異なる教育指導課程のもとにあって、御苦労も多い仕事である。ここに、林先生の地道な御努力によって法学部通信教育課程が支えられてきたことを思うと共に、その労に重ねて深謝する次第である。

林烈先生が、定年を全うなされたことを祝いつつ、今後とも、ますます御健勝であられるように、またわれわれ後進に御教示、御鞭撻下されるように、心よりお願いしたい。

昭和六〇年二月

法学研究編集委員会